



男女共同参画社会

を考える情報誌

ききょうフォーラム通信

令和 6 年度いせはら男女共同参画フォーラムを開催しました

講演の要旨と受講者の感想をお伝えします。

講師 白河 桃子氏（ジャーナリスト、相模女子大学大学院特任教授、昭和女子大学客員教授）

テーマ ジェンダー視点で見るヒットドラマ 現代日本の働き方、ワークライフバランス、夫婦の形

開催日 2025 年 2 月 26 日（水曜日）

場所 伊勢原市民文化会館 小ホール



講演の要旨 2016 年に放送された TBS テレビ系の人気ドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」（以下、逃げ恥）を題材に、主に次のテーマについての話がされました。

■家事労働の評価 逃げ恥では、専業主婦の家事労働を「無償ケア労働」（賃金が発生しないが社会に必要な労働）として可視化し、その価値が問い直されました。愛情や感情によって家事労働が過小評価される現状を、新垣結衣さん演じる主人公の森山みくりは「好きの搾取」と表現し、法律上の結婚に異議を唱え、星野源さん演じる津崎平匡を、家庭という仕事場の「共同経営者」として、最適な家事分担を考えました。

また、家事労働の価値を「機会費用法」に基づいて評価し、もし外で働いていたら得られた収入を基に、家事労働の月給を 19.4 万円と算出しました。



■夫婦の形と多様性 従来の「夫は仕事、妻は家庭」という固定観念からの脱却を促すだけでなく、共働きや事実婚、同性婚などの多様な夫婦の形が逃げ恥では描かれました。それを踏まえ、現在も国で議論されている選択的夫婦別姓問題といった法制度の課題が提起されました。

■男性の育児参加 男性の育児休業取得の重要性が強調され、育児は「サポート」ではなく「共同作業」という認識が広まっています。また、国内の先進的な企業を紹介し、男性の育児参加は女性の社会進出を促進するだけでなく、男性自身の働き方や意識の改革にも繋がると力説されました。



■ステレオタイプの解消 「男らしさ」「女らしさ」といった固定観念が個人の生き方や可能性を制限している現状を指摘しました。逃げ恥では、これを「呪い」と表現し、メディアやテレビ広告がステレオタイプを助長していることに対して警鐘を鳴らし、意識改革の必要性を訴えました。

■社会全体での支え合い 女性の活躍のためには男性の意識改革と行動変容が不可欠であり、育児は夫婦だけでなく社会全体で支えるべきと強調されました。ステレオタイプを解消するためのワークショップの実施やテレビ広告におけるステレオタイプ規制の重要性も語られました。

受講者の感想 印象に残ったのは、「ステレオタイプ（先入観、固定観念、思い込み）」や「アンコンシャスバイアス（無意識にもつ偏見）」に関するお話です。男女共同参画には、女性だけでなく男性の役割も重要になります。長年の蓄積の中で、「男性は家事や育児をしなくてもよい」という考えが、私自身や家族の中にもあったことに気づき、それを是正することがワークライフバランスの実現に繋がると理解しました。講師が強調した「言論より行動」の重要性、そうした動きが社会に変化をもたらす力になることを期待しています。

裏面に続く

4月1日～30日は「若年層の性暴力被害予防月間」です

4月は進学・就職等に伴い若年層の生活環境が大きく変わり、性犯罪・性暴力の被害にあうリスクが高まる時季です。

若年層を狙った性犯罪・性暴力は、その未熟さに付け込んだ重大な人権侵害であり、決して許されるものではありません。

望まない性的な行為は、性暴力です

いつ、どこで、だれと、どのような性的な関係を持つかは、自分で決めることができます。

一方で、10歳代・20歳代に対する性暴力の手口が巧妙になっています。

睡眠薬などの薬を飲み物や食べ物に混ぜたり、お酒を飲ませて酔わせたりして、意識をもうろうとさせ、抵抗できない状況にして、体を触られていたり、性的な行為をされていたりしたケースがあります。

また、「モデル・アイドルになりませんか」と声をかけられたり、高収入のアルバイトに応募したりしたところ、同意していない性的な行為等の写真や動画を撮影されてしまうこともあります。

自撮り画像を勝手に掲載されるなどの、SNSを利用した性被害もあります。

もしかして「デートDV」かも

デートDVとは、交際相手からの暴力のことです。体に傷を負わせる行為だけでなく、メールや服装のチェックなど、自分の意志を制限するような言動によって苦痛を感じたら、被害に遭っている可能性があります。

一人で悩まず、まずは相談を

辛い、苦しいと感じたら、一人で悩まずに、まずは電話でご相談ください。相談は無料で、相談者の秘密は固く守られます※緊急の場合は、110番または最寄りの警察署へご相談ください

相談窓口



令和7年度の啓発ポスター(内閣府作成)



相談窓口	電話番号等	相談日・相談時間
性暴力に関するSNS相談 Cure time 	チャット ※QRコードよりご利用ください。 	毎日 午後5時～午後9時 
かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター「かならいん」	#8891 (はやくワンストップ) (045-322-7379)	24時間対応
相談電話「性犯罪110番」	#8103 (ハートさん) (0120-38-8103)	24時間対応

編集

伊勢原市男女共同参画推進サポーター

発行

伊勢原市人権・広聴相談課
人権・男女共同参画推進係
伊勢原市田中 348
電話:0463-94-4716(直通)
FAX:0463-92-9009
E-mail:jinken@isehara-city.jp

【編集後記】

今回の講演では夫婦関係がメインで語られましたが、ドラマの中では、「独り身にも、もっと優しい社会になってほしい」「僕みたいな、一人で生きる人間もいるってことです」という言葉が引用され、「独身というダイバーシティ」という考え方が示されました。様々な価値観を許容し、誰もが自由で、幸せに生きることができる社会の実現も必要なのではないかと感じました。